令和８年度　学校評価自己評価表（4月）

学校教育目標
気づいて　考えて　やってみる！
―　自分を大切に　人を大切に　力を合わせて　―

めざす子供像
- ○　豊かに感じる子（気づく）
- ○　考え学び合う子（考える・自分で考えて行動する力）
- ○　チャレンジする子（やってみる・やりぬく力）

めざす学校像
- ○　子供が主役の学校
- ○　出会いと感動のある学校
- ○　地域と共に歩む学校

めざす教職員像
- ○　確かな授業力をもつ教職員
- ○　豊かな人間性をもつ教職員
- ○　愛情と使命感に満ちた教職員

生涯にわたって、主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会（地域社会）の創り手を「みんな」で育むためのハブ（軸）

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための計画	評価指標(評価方法)	担当	目標値	自己評価(中間) 達成度	自己評価(中間) 評価	改善方法	評価(適切かどうか) ○適切	評価(適切かどうか) △まあまあ	評価(適切かどうか) ×不適切	学校関係者評価 コメント
知	各教科の見方・考え方を働かせ、対話を通して問題解決する児童の育成	○対話を通して問題解決を行う授業実践、定着度をみとる場の設定を確実に行い、資質・能力の育成を図る。	・対話を通し考えを深めたり、新たな考えが生まれたりする授業構成。授業中、自分の考えを書かせる活動を必ず取り入れる。 ・つけたい力を明確にした授業を行い、授業の後半に確実に適用題の時間を設定し定着を図る。 ・単元末テストまでに達成状況を一人ひとり把握し、ICTや復習プリントなどを利用して確実な学力の定着を図る。 ・テスト結果の要因を児童と振り返り、くり返し復習させる。 ・特別支援教育の考え方の活用。	①単元末テスト算数・理科における学級平均80点以上。 ②標準学力調査の算数・理科で昨年度の当該学級平均点（１年生は全国平均点）を上回る学級の割合。（最終）	教務部	①80%以上 ②80%以上 （５学級以上）							
徳	自他を尊重する豊かな人権感覚を持った児童を育成する。	○積極的生徒指導の推進や自他を尊重する学級づくりを通して、課題に気づき行動できる子どもの育成を図る。	・学級活動を充実させ、自分や学級の課題に気づく力を高め、自分達で改善するための方策を考え実行できるようにする。 ・月ごとに学校全体で学校生活上での課題を設定し、目標値を明確にして取り組む。（前期については「加計っ子５つの約束（あはそろじ）」を意識した取組を行う。） ・集会で学級の取組及び結果を交流し合い、学年の評価もできるようにする。 ・話し合い活動に積極的に取り組み、友達の意見を大切にしながら合意形成をするための方法を指導する。	①毎月の評価目標の評価（学級単位）で児童の評価と職員の評価の差の平均値。 ②学級活動で折り合いを付けて集団としての意見をまとめたり、合意形成を図ったりできた児童の割合。（児童アンケート）	生徒指導部	①15%以下 ②80%以上							
体	健康・安全への意識を持ち、自らの生活をよりよくする実行力のある児童を育成する。	○業間運動や外遊びDayを推進し体力の向上を図る。 ○生命の安全教育の実践を通して、生命を大切にする考えや自分や相手、一人一人を尊重する態度を育む。	・体を動かす時間を多く確保できるように水・木曜日の休み時間を活用して、業間運動、外遊びDayの時間を設定する。全校での外遊びを促し、運動することの楽しさや喜びを体感できるよう工夫する。 ・生命の安全教育を各学年の発達段階に応じて年間２回実施し学級だよりで保護者に内容を伝える。各学級での実施内容や児童の様子を校内研修で交流する。	①「業間運動・外遊びDay」に関する児童アンケートの項目において、肯定的回答の割合。 ②生命の安全教育を実施し、学級だよりで内容を伝えた学年の割合。	保健体育指導部	①80%以上 ②100%							
信頼される学校	地域・保護者とつながり、子どもが創る、大人が支える学校を構築する。	○学校生活を支える家庭環境や、子育て・学びへの考えの醸成を図り、地域・保護者とつながる活動の推進を図る。	・この町で生まれて育つ幸せや、感謝の思いを育む生活科・総合的な学習の時間の実践を進める。五サー市への参加の仕方について検討し、地域・保護者・学校のつながりが深まる活動となるよう盛り上げていく。 ・「チームとしての学校」「組織づくり」をさらに強固なものとしていく。教科担任制や学年ブロック制の取組を進め、人材育成・教職員のやりがいを高める。	①保護者アンケートにおいて「お子様は学校で地域のよさを学んでいると思われますか」の肯定的評価の割合 ②教職員アンケートにおいて「教職員はチームとして機能していると思うか」の肯定的評価の割合	総務部	①90%以上 ②90%以上							

評価基準		
	A	達成率が９０%以上
	B	達成率が８０%以上９０%未満
	C	達成率が６０%以上８０%未満
	D	達成率が６０%未満